

日本映画を世界へ届ける橋渡し企業フィルミネーション、ニッチ化が進むSVOD市場のリーディング企業MUBIにて日本映画の配信を開始

日本の映画を海外のSVOD（Subscription Video on Demand：定額制動画配信サービス）に販売するフィルミネーション株式会社（所在地：神奈川県横浜市、代表取締役：金丸洋明、以下フィルミネーション）は、世界に800万のユーザーをもつMUBI社（所在地：イギリス ロンドン、代表取締役：エフェ・カカレル、以下MUBI）で日本映画の配信を開始しました。

フィルミネーションは、質の高い日本の映画を見つけ出し、海外のSVOD向けに販売すること、まだ海外で知名度が低い日本の新進気鋭の映画監督や映画製作者を支援すること、新しい映画に投資することを通して日本映画にひかりを当てることをコンセプトに発足した、海外のSVODに映画販売するための専門商社です。

現在、日本映画の海外での展開率は圧倒的に低く、EUでは約0.9%、アジアでは約1.7%（※1）と伸び悩んでいる現状があります。フィルミネーションは、これらの地域に日本映画を配信の橋渡しをすることで、日本映画のクオリティの高さをSVODのユーザーを通じて認識させて新たなファンを開拓することで、日本映画市場のすそ野をさらに海外へ広げてまいります。

MUBIは、専任のキュレーターによって厳選された選りすぐりの映画を配信する、イギリスをはじめ世界各地で展開されているSVODです。多くのSVODが配信量を増やそうとする中、MUBIは毎月わずか30本という、圧倒的な配信内容の質で勝負しています。それゆえに、MUBIは、オーディエンスに、「今観るべき作品」を提供しています。映画ファンたちは、30日という短い期間で、様々な映画の発見をします。今回、量よりも質を重視しプロフェッショナルなキュレーターによって厳選した映画のみをユーザーに届けるMUBIが、質の高い日本の映画を見つけ出し海外の映画ファンへSVODを通じて日本映画の予算を届けるフィルミネーションが提供する日本のインディペンデント作品を配信することになったのは、その他の海外のSVODと、日本の映画製作者、特に若手新人監督にとって非常に注目すべき動きと言えます。MUBIとフィルミネーションは2019年4月に契約を行い、この度、下記日本映画2作品が配信されることとなりました。

[配信作品]

- ・ 『わたしたちの家』
監督：清原惟
- ・ 『恋とサヨナラとハワイ』
監督：まつむらしんご



今後、フィルミネーションではさまざまな日本映画の海外配信を積極的に行なっていく予定です。そのため、現在、日本の劇場で公開されず、販売されていないものも含め、日本のあらゆる映画にひかりを当て、販売を促進しています。

日本映画の配信に興味がある海外のSVODは、ぜひご連絡ください。



[フィルミネーション会社概要]

会社名：フィルミネーション株式会社

代表者：金丸洋明

所在地：神奈川県横浜市

設立：2019年1月

お問い合わせ：<https://filmination.jp/ja/contact.html>

[Mubi 会社概要]

会社名：MUBI, Inc.

代表者：エフェ・カカレル氏

所在地：215 Park Avenue South, Floor 12, New York, NY 10003, United States

設立：2007 年

※ 1：出典：外務省大臣官房文化交流・海外広報課:映画産業の海外展開に関する検討
会議 https://www.kantei.go.jp/jp/singi/eiga_kaigaitenkai/dai4/siryou4.pdf